

柏崎

会議所ニュース

令和8年

1

No.670



年頭挨拶

柏崎商工会議所会頭

西川 正男

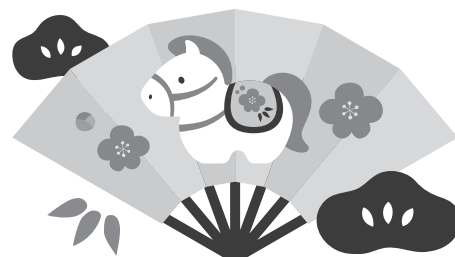
あけましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より柏崎商工会議所の活動に対して、ご理解とご協力を賜り、心より御礼を申し上げます。

さて、昨年11月1日から始まった柏崎商工会議所の新たな任期にあたり、6期目の会頭職を仰せつかることとなりました。過去5期15年の反省を踏まえながら、これからの3年間を実のあるものとしなければならないという責務の重さに、身の引き締まる思いです。会員の皆さま方の叱咤激励を頂戴しながら、会員の皆さまのお役に立てる柏崎商工会議所を目指してまいります。本年もご指導とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

一昨年の2月、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働を求める請願を柏崎市議会に提出し採択をいただきましたが、それから2年の歳月を経て花角知事がようやく再稼働容認の結論をお出しになられたことは、誠に喜ばしい限りです。エネルギー政策は国策であるわけですので、これからは国が最終処分の問題も含めて積極的な対応を取っていただくよう、また、東京電力には安心・安全にはゴールは無いことを肝に銘じていただき、さらなる信頼回復に努めていただくよう、願ってやみません。

東日本大震災の原子力災害から15年が経とうとしています。この間、私たちは原子力発電所再稼働問題ばかりに翻弄され、本来の地域振興に取り残された感があります。これからはその地域振興に本腰を入れ、遅れを取り戻さなければなりません。原子力立地地域の地域振興に向けた共創会議を設立することは皆さまもご承知のことと思います。小林治助第4代柏崎市長が説いた「柏崎を全国の原発立地のモデル地域としよう」との理念を実現すべく、あらためて地域の将来像を描いたうえで、市や県、国と共創会議を立ち上げ、その実現に向けた取り組みを展開中です。今年はその動きを本格化させなければなりません。これを今年の最大のテーマと位置づけ、その活動の輪を広げていきたいと思っています。ぜひ皆さまのお声をお聞かせいただきながら、その実現の先頭に立ちたいと考えています。

今年も「会員の皆さまのお役に立てる柏崎商工会議所」を目指し、皆さまとともに歩みを進めてまいります。そして柏崎地域の将来像の実現を目指す動きを展開してまいります。皆さま方のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



柏崎商工会議所
ホームページ



会議所
ニュースページ